

事業者団体調査(広島県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
広島県社会福祉協議会	リスクマネジメント研修	指導的	社会福祉施設・事業所におけるリスクマネジメントの考え方や具体的な対応策など、リスクマネジメントの仕組み作り・体制作りのために必要な実務について学びます。	1回	1カ所	1日	140人	-	-	-
	福祉職員生涯研修(指導的職員)	指導的、ミドル	指導的職員に期待される基本的役割を理解し、必要となる知識や技能を習得します。	1回	1カ所	3日	80人	-	-	-
	職場内研修担当職員応用研修	指導的、ミドル	今年度の職場内研修を振り返るとともに、今後の効果的な職場内研修に向けてカリキュラム策定方法や有効な技法について実践的に学びます。	1回	1カ所	1日	60人	-	-	-
	管理者のための組織管理研修	ミドル、トップ	組織の基盤づくり、内部統制・情報公開・説明責任などの理解を深めます。	1回	1カ所	1日	40人	-	-	-
	管理者のためのサービス管理研修	ミドル、トップ	業務手順や顧客満足度の把握、成功要因の分析(事例研修について学びます。)	1回	1カ所	1日	40人	-	-	-
	知っておきたい! 運営管理者のための労務管理能力向上研修	ミドル、トップ	①管理者の基本の共通理解、②管理者としての計画スキル、③管理者としての指導スキルの向上を目的とし、ビジネスコーチングを活用した計画管理と部下指導の実践を学びます。	1回	1カ所	1日	80人	-	-	-
	運営管理者のための部下とコミュニケーション力向上(アサーティブ)研修	ミドル、トップ	広い視野・視点で、部下の強みや持ち味を活かしながら育成する考え方を学び、「想い」を紡ぎ、部下を元気にするコミュニケーションスキルを習得します。	1回	1カ所	1日	40人	-	-	-
	運営管理者のための部下のメンタルヘルス向上研修	ミドル、トップ	メンタルヘルスに関する知識と技術を学び、職場のメンタルヘルス問題へのリスク感覚を養い、関連症状の理解とともに管理者が実践しやすい適切な対応方法について学びます。	2回	2カ所	1日	60人	-	-	-
	福祉職員生涯研修(運営管理者)	トップ	運営管理者に期待される基本的役割を理解し、必要となる知識や技能を習得します。	1回	1カ所	2日	50人	-	-	-
	運営管理者のための福祉経営総論研修	トップ	事業展開の策定手法、自律的経営に向けた体質改善への理解を深めます。	1回	1カ所	1日	40人	-	-	-
	運営管理者のための社会副法人財務管理研修	トップ	社会福祉法人会計基準の適切な運用方法と安定的な法人経営のための財務管理の基本視点について、事例を交えながら学びます。	1回	1カ所	1日	80人	-	-	-
	防災安全研修(通所)	関係職員	煙中避難などの体験者各種消防設備を使用した実践的な訓練を通じて、行動力、判断力をみにつけ、必要な知識や専門技術を習得します。	1回	1カ所	1日	60人	-	-	-
	防災安全研修(入所)	関係職員	夜間訓練など実践的な訓練を通じ、行動力、判断力をみにつけ、必要な知識や専門技術を習得します。	3回	1カ所	2日	75人	-	-	-
	人権擁護研修	関係職員	身近なことから人権問題について学び、人権意識の高揚に主体的かつ積極的に取り組むことができる人材を養成します。	2回	2カ所	1日	100人	-	-	-
	医学知識習熟基礎研修	関係職員	介護に求められる基礎的な医学知識を学びます。	2回	2カ所	1日	90人	-	-	-
保健衛生担当職員研修	関係職員	社会福祉施設・事情所における保健衛生管理に必要な知識及び技術を学びます。	2回	2カ所	1日	160人	-	-	-	
社協経理研修	関係職員	社協会計の基礎について学び日々の会計処理の困りごとを解決します。	1回	1カ所	1日	30人	-	-	-	

事業者団体調査(広島県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
広島県社会福祉協議会	食の知識・技術スキルアップ研修	関係職員	嚥下の仕組みと食べる機能の基本的な理解をはじめ、安全においしく食べていただくためのアプローチ方法を学び、食事介助の演習により食事ケアのスキルアップを目指します。	2回	2カ所	2日	110人	-	-	-
	救急対応技術(AEDを学ぶ)研修	関係職員	AED使用方法等について学びます。	4回	1カ所	1日	120人	-	-	-
	口腔ケア基礎研修	介護職員等関係職員	口腔に関する基礎的な知識や実践的なケアの方法を身につけます。	1回	1カ所	1日	60人	-	-	-
	介護職のための最新介護知識技術向上研修	介護職員等関係職員	最新の介護知識・技術(腰痛予防等含む)を学びます。	1回	1カ所	1日	80人	-	-	-
	相談援助職のための面接技術スキルアップ研修	生活相談員関係職員	介護職の職員が行う相談業務のスキルアップを目指します。	1回	1カ所	1日	60人	-	-	-
	社会福祉法人理事研修	社会福祉法人理事	法人指導監査の状況と関連施策の動向を確認し、適切な法人運営を行うための理事の役割と財務諸表の基本的な見方について学びます。	2回	2カ所	0.5日	200人	-	-	-
	社会福祉法人監事研修	社会福祉法人監事	監事監査の種類・特徴を把握し法人会計監査上の着眼点と決算書(財務諸表)の見方のポイントについて学びます。	2回	2カ所	0.5日	200人	-	-	-
	子育て支援スタッフ研修	保育士及び児童関係施設職員	被虐待児の心のケア、保護者に対する相談援助技法、発達障害児との関わり等について学びます	1回	1カ所	1日	60人	-	-	-
	今日からつかえる「労働保険と社会保険」の実務研修	事務担当職員	労働保険・社会保険実務の的確な事務処理能力の向上と適切な労務管理について認識を深めます。	2回	2カ所	1日	140人	-	-	-
	社会福祉法人新会計基準研修	会計担当職員	社会福祉法人の新会計基準の適切な運用方法と安定的な法人運営のための財務管理の基本視点について、事例を交えながら学びます。	3回	2カ所	1日	230人	-	-	-
	記録の方法と活用研修(老)	高齢者関係施設・事業所(訪問介護を除く)職員	ケース記録に焦点を絞り、記録の意義や目的を理解し、記録の大原則を確認するとともに、より良い記録の取り方について演習を交えて学びます。	1回	1カ所	1日	70人	-	-	-
	記録の方法と活用研修(障害・児)	障害者・児童関係施設事業所(保育所を除く)職員	ケース記録に焦点を絞り、記録の意義や目的を理解し、記録の大原則を確認するとともに、より良い記録の取り方について演習を交えて学びます。	1回	1カ所	1日	60人	-	-	-
	地域密着型サービス職員のための防災安全研修	認知症高齢者グループホーム職員及び小規模多機能型居宅介護事業所職員	認知症対応型グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所の火災事故に対応するために必要な知識及び技術を習得します。	2回	2カ所	1日	50人	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> ○研修案内に係る広報 ○講師の確保・開拓 ○研修参加費と収支のバランス ○施設・事業所のニーズに応じきれていないこと(定員・内容・実施場所) 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修事業の積極的広報 ○同研修の複数回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設・事業所が実施する職場内研修と外部機関(県社協)が実施する研修に連動性をもたせる仕組みが必要。

事業者団体調査(山口ひとづくり財団)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業)	9 その他	
(財)山口ひとづくり財団 社会福祉研修部	老人福祉施設職員研修(新任職員研修)	特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム及びこれらの施設に併設のデイサービスセンターの新任職員並びに認知症高齢者グループホーム	これからの介護サービスを担っていく新任職員として業務の基礎となる介護サービスの動向、職業倫理、社会人としてのマナーについて学ぶ。	4回	1カ所	7日	245人	500円	-	-
	老人福祉施設職員研修(中堅職員第1部研修)	特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム及びこれらの施設に併設のデイサービスセンター並びに認知症高齢者グループホームの職員で、老人福祉施設等における実務経験が2年以上5年未満の方	老人福祉施設の中堅職員として、質の高いケアを実践していくために必要な知識・技術を学ぶことにより、専門性の向上を継続的に目指していくための土台づくりとする。	2回	1カ所	4日	148人	500円	-	-
	老人福祉施設職員研修(中堅職員第2部研修)	特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム及びこれらの施設に併設のデイサービスセンター並びに認知症高齢者グループホームの職員で、老人福祉施設等における実務経験が5年以上の方。ただし、主任、係長等の職にない方。	「高齢者の尊厳を支えるケアの確立」をめざして、老人福祉施設の中堅職員として、これまで実践してきた介護サービスを改めて見直し、日常業務の中で改善・工夫していくための研修の場とする。	1回	1カ所	2日	76人	500円	-	-
	児童・障害者(児)福祉施設職員研修(新任職員研修(障害福祉施設コース))	障害児福祉施設、障害者支援施設、相談支援事業所、知的障害者援護施設、身体障害者更生援護施設、障害福祉サービス事業所、障害者就業・生活支援センター、精神障害者社会復帰施設、救護施設、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業所、デイケアハウスにおける新任職員	社会福祉施設で働く社会人として、また組織の一員としての基本姿勢を学ぶとともに、専門職としての基礎知識、自己管理の手法を習得する。	4回	1カ所	6日	277人	500円	-	-
	児童・障害者(児)福祉施設職員研修(中堅職員第1部研修(障害福祉施設コース))	児童・障害者(児)福祉施設等の業務に従事する職員で勤務年数2年以上5年未満の者	仕事の段取り術について学び、業務を客観的に見直し改善を図るとともに具体的な事例研究をとおして援助職としての資質の向上を図る。	1回	1カ所	2日	42人	500円	-	-
	児童・障害者(児)福祉施設職員研修(中堅職員第2部研修(障害福祉施設コース))	児童・障害者(児)福祉施設等の業務に従事する職員で勤務年数5年以上の者	「強度行動障害」について具体的な支援方法について学び、専門性の向上を図る。自分を見つめる時間の中で、ストレスマネジメントの手法を学び、自己管理能力の向上を図る。	1回	1カ所	2日	51人	500円	-	-
	認知症介護実践研修(実践者研修)	認知症介護業務従事者	認知症介護の基本理念、基本的知識の習得	2回	1カ所	5日(他施設実習1日)(自施設実習4週間)	139人	10,000円	-	-
	認知症介護実践研修(実践リーダー研修)	基礎課程又は実践者研修修了者で介護業務に概ね5年以上従事した経験を有する者	認知症介護の専門職員の養成及び事業所内のケアチームを効率的に機能させる指導者の養成	2回	1カ所	7日(他施設実習3日)(自施設実習4週間)	30人	12,000円	-	-
訪問介護テーマ別技術向上研修	現在の2級以上の訪問介護員等	利用者のいきがづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	6回	1カ所	6日	424人	1,000円	-	-	
質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。		質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。		質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。						
当財団の研修は主として山口県からの委託で実施しているが、年々委託料が減額される傾向にあり、質の低下や受講料の上昇を懸念するところである。		アンケートなどをもとにして、実施時期や実施方法(日程、回数など)等をできるだけ参加しやすいように計画している。また受講料をなるべく安くするよう配慮している。		実施時期や実施方法、受講料などへの配慮。						

事業者団体調査(徳島県社会福祉協議会)

実施主体 質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業)	9 その他	
徳島県社会福祉協議会	社会福祉新規採用職員研修会	初めて福祉職に就いた社会福祉施設・社協等の職員	・社会福祉の動向と福祉従事者としての心構え・現場で役立つ救急法 ・職場の人間関係の作り方・接遇マナー	2回	1カ所	18時間(3日)	およそ120人	-	-	
	社会福祉新任職員研修会	業務3年未満の社会福祉施設職員、社協職員	・社会福祉の動向と福祉従事者としての心構え・職場の人間関係の作り方・接遇マナー・チームの重要性と組織理解・福祉レクリエーション	2回	1カ所	18時間(3日)	およそ120人	-	-	
	社会福祉中堅職員研修会	業務経験が3年以上の社会福祉施設職員・社協職員で、係長・課長等の役職に就いている者	中堅職員に求められるスーパービジョンの技法	1回	1カ所	6時間(1日)	およそ70人	-	-	
	社会福祉指導的職員研修会	業務経験が3年以上の社会福祉施設職員・社協職員で、係長・課長等の役職に就いている者	社会福祉施設と地域の協働・問題解決のプロセス	1回	1カ所	12時間(2日)	およそ60人	-	-	
	コミュニケーション強化セミナー	社会福祉施設職員・社協の職員	効果的な仕事集団になるためのコミュニケーション	1回	1カ所	6時間(1日)	およそ50人	-	-	
	接遇・マナー研修会	社会福祉施設職員・社協の職員	接遇の持つ特性、電話対応のポイントなど	1回	1カ所	6時間(1日)	およそ60人	-	-	
	ストレスマネジメント研修会	社会福祉施設職員・社協の職員	職員のストレスをコントロールするスキル学習、利用者への心理的関わりについて	1回	1カ所	6時間(1日)	およそ50人	-	-	
	クレーム対応力強化セミナー	社会福祉施設職員・社協の職員	福祉サービスにおけるクレーム対応	1回	1カ所	6時間(1日)	およそ60人	-	-	
	組織マネジメント研修会	社会福祉施設職員・社協の職員	利用者のいきがづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	1回	1カ所	18時間(3日)	およそ30人	-	-	
	福祉カウンセリング実践講座	社会福祉施設職員・社協の職員	福祉カウンセリングの理解と実践	1回	1カ所	12時間(2日)	およそ50人	-	-	
	地域ケアマネジメント研修会	社会福祉施設職員・社協の職員	地域に存在する社会資源の活用、他職種との連携方法についてなど	1回	1カ所	6時間(1日)	およそ40人	-	-	
	福祉の職場研修担当者養成研修	社会福祉施設職員・社協の職員	職場内の効果的な研修開催方法	1回	1カ所	6時間(1日)	およそ40人	-	-	
	介護福祉士準備講座	社会福祉施設・社協に勤める者で、今年度介護福祉士国家試験を受験予定の者	介護福祉士国家試験(筆記試験)対策	1回	1カ所	30時間(5日)	およそ30人	-	-	
	介護福祉士実技講座	社会福祉施設職員・社協の職員	介護福祉士国家試験(実技試験)のポイント	3回	1カ所	6時間(1日)	およそ90人	-	-	
	効果的な組織運営を行うための研修会	社会福祉施設職員・社協の職員	組織の運営・管理に必要な知識・技術の習得	1回	1カ所	6時間(1日)	50人	-	-	
	コミュニティ・ソーシャルワーク研修会	社会福祉施設職員・社協の職員	地域を基盤としたあらゆる分野の社会福祉を総合的・横断的に捉え、実践へ活かす方法を学ぶ。	1回	1カ所	6時間(1日)	50人	-	-	
	チームカンファレンス実践講座	社会福祉施設職員・社協の職員	関わるケースにおける解決課程を整理し、必要な視点やネットワークづくりの技法等について学ぶ。	1回	1カ所	6時間(1日)	50人	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。 ・介護福祉士国家試験(筆記試験)の内容について、5日間で効果的な研修会を実施するためのプログラムづくり、講師の確保。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。 ・介護職員に絞っているわけではないが、受講しやすくするために、年間3回程度は今後のスケジュールを前もって通知するようにしている。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。 ・事業所の内部に研修体系を創る。(外部の研修、内部の研修) ・もちろん、多くの方に受講していただくことも必要だが、ひとりの職員がより効果的に継続して研修会を受講できる仕組み、事業所に呼びかけ、築いてもらう必要がある。
--	---	---

事業者団体調査(かがわ健康福祉機構)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
(財)かがわ健康福祉機構	施設等新任職員研修	社会福祉施設等に勤務して概ね2年未満の者	・福祉サービスの理念・動向と職業倫理 ・新任職員の役割行動 ・コミュニケーションの基本 ・問題解決とチームワーク	2回	1カ所	13時間(2日)	206人	-	-	-
	高齢者福祉施設等職員研修	高齢者福祉施設職員等	どうすれば職員のモチベーションを高めることができるか -利用者本位サービスを担う事業所となるために取り組むべきこと-	1回	1カ所	5時間(1日)	115人	-	-	-
	訪問介護適正実施研修	指定訪問介護事業所のサービス提供責任者	・訪問介護サービスの現状における諸問題 ・さまざまな問題(医療関連、リスク等)の解決に向けて -状態の把握と分析、具体的な援助方法-	1回	1カ所	6時間(1日)	115人	-	-	-
	訪問介護計画作成・展開研修	指定訪問介護事業所のサービス提供責任者等	・介護課題への気付き、利用者が期待する訪問介護 ・高齢者の口腔ケア-口をのぞけば介護が見える- ・医療依存度の高い人のケアについて ・訪問介護計画への対応。訪問介護計画作成と展開	1回	1カ所	19.5時間(3日)	77人	-	-	-
	レクリエーション・アクティビティ研修	入所施設やデイサービスセンター等においてレクリエーション及び介護予防プログラムを担当する職員等	・コミュニケーションスキルをアップして心地よい介護につなげよう ・脳の活性化に繋げる愉快的なゲームの遊び方 坊主めくり、サイコロゲーム、将棋ゲームなど	1回	1カ所	5.5時間(1日)	150人	-	-	-
	ファミリーカウンセリング研修	在宅支援サービス担当職員	・家族を見る視点 ・アセスメントを検討する ・事例検討 ロールプレイ	1回	1カ所	5時間(1日)	75人	-	-	-
	介護技術特別研修	介護担当者	・利用者本位の介助技術 -感情労働としての介護職の専門性- ・心地よさを増す介護テクニック	1回	1カ所	6時間(1日)	140人	-	-	-
	介護福祉士養成実習施設実習指導者研修	介護福祉士として3年以上の実務経験があり、実習施設における実習指導者になろうとする者及び現任者	・介護の基本。実習指導の理論と実際 ・介護過程の理論と指導方法 ・スーパービジョンの意義と活用及び学生理解 ・実習指導の方法と展開。実習指導の課題への対応	1回	1カ所	2.5時間(4日)	103人	-	-	-
	施設実習指導者ステップアップ研修	介護福祉士養成実習施設の実習指導者等	利用者のいきがいづくりや健康の保持及び増進し、レクリエーション活動に必要な知識と技術を習得します。	1回	1カ所	20時間(4日)	メニュー式で延べ230人(3コース)	-	-	-
福祉従事者等キャリアアップ支援研修	実務経験2年以上の介護職員等	・自立支援の基盤となるもの、専門職の連携による利用者理解 ・豊かな人間理解と介護の原則、個性の尊重と人の尊厳 ・セーフティマネジメントのプロセス、安全配慮義務と施設介護サービス計画 ・難病の基礎知識、「介護」「遊び」にそりハビリテーション	1回	1カ所	20時間(4日)	メニュー式で延べ335人(4コース)	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。下欄にご記入ください。 研修への参加希望は多くなっているが、受講者の基礎知識・スキルのばらつきが大きく系統立てた研修の企画が難しくなっている。仕事に対する価値観、職業倫理のばらつきも大きい。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。下欄にご記入ください。 ・年度の初めに全施設の施設長あて、「施設職員一人一人の研修を検討(計画)の上、当所のどの研修に派遣していただけるか」の一括した申込書を郵送し、年間の研修申込み書の提出(回答)を依頼している。 ・当機構研修部のホームページにその都度研修のお知らせを掲載しているが、県の委託・補助事業については、県のホームページにも掲載している。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。下欄にご記入ください。 ・きめ細かい研修を行うには適正な人員であることが大切だが、少人数だと受講料に跳ね返り高額となる。また駐車料金負担等もあり、回を重ねての受講は経済的にも難しい意見も多い。受講料の補助ができれば参加しやすくなると思う。 ・研修の参加で施設等を留守にすると他の職員に負担がかかるという本人の負担感と、施設長の「現場の職員定数減・定員数の未達成」となる意見があり、代替職員派遣制度等があれば研修の参加がしやすくなると思う。
--	--	---